

## 編集後記

■会員の皆様にはご活躍のことと拝察いたします。19巻1号をお届けいたします。編集にてござりまして、発刊が遅くなってしまったことを深くお詫び申し上げます。

■今号は盛りだくさんです。まずは恒例の時間生物学会奨励賞受賞者論文。羽鳥先生、中村先生、久保先生、三者三様の個性的な持ち味で執筆していただきました。改めて、おめでとうございます。さらに、伊藤先生・松本先生によるショウジョウバエの時計解析の総説。こちらは次号へと続く長編です。松尾先生には緑藻クラミドモナスの時計についての最新情報、さらに平野先生には最近Cell誌の表紙を飾った哺乳類の新たな時計の制御機構についてご執筆頂きました。小島志保子さんには、抱腹絶倒の留学体験記をお寄せいただきました。また、糸先生には書評を3冊分頂きました。ありがとうございます。

■時間生物学会のロゴマークが決定いたしました。東大の広瀬さんのデザイン、今後、さまざまところで使わせて頂くことになると思います。末長く大切に使用させていただきたいと思います。

■今号の表紙は、新進気鋭の若手ガラス工芸美術家、齋藤帆奈さんをお願いしました。身近な生物素材（花や昆虫の死骸など）を、ほうけい酸ガラス（耐熱ガラス）に閉じ込めて天井から無数に吊るした新作。永遠に時間が封じ込まれているかのような、と同時に、一瞬ではかなく壊れてしまいそうでもある繊細な作品です。「時間」と「生命」、私たちをとりまく科学や技術を見つめる作家の伶俐な眼差しを感じます。

■一部の総説やエッセイの画像につきまして、冊子体ではグレースケール（白黒）になっていますが、学会のウェブサイトからはpdfファイルではフルカラー版を無償ダウンロードできるものがございます。ぜひウェブリンクのほうもご活用いただきますよう、お願い申し上げます。

時間生物学 Vol. 19, No. 1 (2013) 平成25年6月10日発行

発行：日本時間生物学会 (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsc/index.html>)

(事務局) 〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学大学院 生命農学研究科  
応用分子生命科学専攻 海老原史樹文研究室内  
Tel : 052-789-4066

(編集局) 〒162-8480 東京都新宿区若松町2-2  
早稲田大学先端生命医科学研究センター  
(TWIns) 1F 岩崎秀雄研究室内  
Tel : 03-5369-7317 Email : hideo-iwasaki@waseda.jp

(印刷所) 名古屋大学消費生活協同組合 印刷・情報サービス部